

令和2年度第1回大阪府市地方独立行政法人  
大阪産業技術研究所評価委員会  
議事要旨

- 1 日時 令和2年8月5日（水）午後2時00分～午後5時00分
- 2 場所 地方独立行政法人大阪産業技術研究所 森之宮センター 3階 大講堂
- 3 出席委員 田口委員長、生駒委員、小林委員、西村委員、平山委員
- 4 議事内容  
(1) 地方独立行政法人大阪産業技術研究所の令和元事業年度の業務実績に関する自己評価及び評価結果（案）について
  - ・資料1から4に基づき、令和元事業年度の業務実績に関する法人の自己評価及び知事の評価結果（案）について法人及び大阪府から説明が行われた後、小項目評価、大項目評価及び全体評価について審議が行われた。
  - ・なお、令和元事業年度の業務実績に関する評価（案）や、次年度以降の法人運営で参考とされたい主な意見は以下のとおり。

<主な意見>

【小項目1】

- ・オンラインで技術相談を受けるなど、コロナ禍に対応した事業形態の検討に今後取り組まれたい。

【小項目3】

- ・EMC技術開発支援センターの取組成果やインキュベーション施設を活用した起業支援等の成功事例を積極的にアピールするべき。
- ・定量的な評価ができない項目でも、自己評価の判断理由の記載内容を工夫するなどし、評価しやすくされたい。
- ・JNL A試験の実績等の見える化に積極的に取り組まれたい。
- ・EMC技術開発支援センターについては、利用する中小企業の課題解決や技術支援等に積極的に取り組んでおり、令和元事業年度の利用実績が「Ⅳ」評価であった平成30事業年度の利用実績も上回っていることから、「Ⅲ」ではなく「Ⅳ」評価とするのが適当である。

【小項目8】

- ・「自己評価の考え方」により定量的に評価するだけでなく、それぞれの取組内容に着目して加点するなど評価を工夫されたい。

【小項目9】

- ・行事名等の羅列ではなく、関係機関との連携が具体的に分かる記載となるよう添付資料の記載内容を工夫されたい。
- ・今後のコロナ禍でも、デジタル技術を活用して関係機関との連携等に積極的に取り組まれたい。

【小項目10】

- ・今後のコロナ禍でも、オンライン技術の活用などによりイベント活動等による積極的な情報発信を続けられたい。

【小項目13】

- ・コロナ禍でも利用が可能となるよう、手術ロボット「ダヴィンチ」のような遠隔操作による装置使用の仕組みを検討されたい。

【小項目16～20】

- ・様々な危機事象に対応するため、職員一人ひとりの危機管理意識の更なる向上に取り組まれたい。
- ・役員や幹部職員だけでなく、研究員や事務職員に至るまで職員への法人取組方針等の共有に積極的に取り組まれたい。

(2) その他

特になし

以上